

「令和2年版 環境白書（環境に関する年次報告）」の概要について

〔 令和2年9月17日 〕
環境政策課

1 趣旨

広島県環境基本条例（平成7年広島県条例第3号）第8条第1項及び第2項の規定により、本県における環境の状況及び環境保全に関する施策等について報告するために、「令和2年版 環境白書（環境に関する年次報告）」を作成した。

この報告書は、県議会9月定例会に提出するとともに、関係行政機関及び図書館への配付や、県ホームページへの掲載により、広く、県民に情報提供し、本県の環境についての理解を深め、環境保全活動の推進に活用していく。

広島県環境基本条例

第8条 知事は、毎年、県議会に、環境の状況及び知事が環境の保全に関して講じた施策に関する報告を提出しなければならない。

2 知事は、毎年、前項の報告に係る環境の状況を考慮して講じようとする施策を明らかにした文書を作成し、これを県議会に提出しなければならない。

2 年次報告の構成

本書は2部構成で、第4次環境基本計画（平成28年3月策定）の施策体系に沿った構成とし、内容は次のとおり。

施策の進捗状況を把握するため、目標に対する指標とその達成率を記載している。

構成	項目	内容		
第1部	広島県の環境政策	環境問題の推移，環境政策の方向性		
第2部	環境の現状と県の取組	—		
第1章	地域活性化など地域課題の解決に資する環境施策	背景，施策展開の基本的な考え方，自主的な環境活動の展開イメージ，施策の内容		
	第2章	分野別施策	現状と課題，環境の状態等を測る指標，取組状況（令和元年度実績・令和2年度内容）	
	第1節	広島の特性を生かした「低炭素社会の構築」	省エネルギー対策の推進，再生可能エネルギーの導入促進，森林吸収源対策の推進，その他地球温暖化対策の推進	
		第2節	広島の更なる3Rを進める「循環型社会の実現」	資源循環を基本とした社会づくり，適正かつ効率的・安定的な廃棄物処理を支える社会づくり
		第3節	広島の良い環境「地域環境の保全」	良好な大気環境の確保，健全な水循環の保全・管理，化学物質による健康リスクの低減・土壌環境の保全，地域環境の維持・向上
		第4節	広島豊かな「生物多様性の保全」	生態系の健全な維持管理，自然資源の持続可能な利用
第5節		環境負荷の少ない社会を支える「人づくり・仕組みづくり」	環境学習・環境活動の推進，環境ビジネスの育成，環境配慮の仕組みづくり	
付録	環境基本計画における目標・指標及びその進捗状況，環境関連事業費等			

3 報告書の概要

【分野別施策】

(1) 広島の特性を生かした「低炭素社会の構築」(P7～)

○ 県内の二酸化炭素排出状況

本県の平成 28 年度の二酸化炭素排出量は、第 2 次広島県地球温暖化防止地域計画の基準年度である平成 19 年度に比べて 6.2%減少している。

平成 28 年度の部門別の状況を見ると、産業部門の排出量が 4,040 万 t で、県全体の 72.8%と最も大きな割合を占めている。

目標指標の達成状況については、民生（家庭）部門の排出量（517 万 t）では、近年の少人数世帯数の増加や家電の大型化などもあり、現行の水準では令和 2 年度の目標を大きく下回る見込である。

一方、運輸部門の排出量（583 万 t）、民生（業務）部門の排出量（366 万 t）及び廃棄物部門の排出量（47 万 t）では、目標達成には至っていないものの、90%以上の達成率であった。

二酸化炭素排出量と削減率（平成 28 年度）

（単位：万 t-CO₂）

区 分	H19 基準年度		H28 実績		H19 からの削減率		県の削減目標 （基準年度：H19） （目標年度：R2）
	国	県	国	県	国（%）	県（%）	
産 業	63,613	4,200	56,405	4,040	▲11.3	▲3.8	エネルギー消費原単位を H19 比 13%改善
運 輸	23,924	698	21,530	583	▲10.0	▲16.4	H19 比 24%削減
民生（家庭）	17,280	502	18,476	517	+6.9	+2.9	H19 比 42%削減
民生（業務）	22,683	467	21,199	366	▲6.5	▲21.7	H19 比 42%削減
廃 棄 物	3,050	50	2,918	47	▲4.3	▲6.5	H19 比 10%削減
合 計	130,550	5,919	120,528	5,553	▲7.7	▲6.2	産業部門を除き H19 比 33%削減

【目標指標の達成状況】

指標項目（内容）	単位	基準年度値 (H19)	現状値 (H28)	目標値 (目標年度R2)	目安 ^{※1}	指標達成率 ^{※2}	進捗状況
二酸化炭素排出量 (運輸)	万 t-CO ₂	698	583	531	582	99.8%	未達成 ^{※3}
二酸化炭素排出量 (民生（家庭）)	万 t-CO ₂	502	517	291	356	68.9%	未達成
二酸化炭素排出量 (民生（業務）)	万 t-CO ₂	467	366	271	331	90.4%	未達成 ^{※3}
二酸化炭素排出量 (廃棄物)	万 t-CO ₂	50	47	45	47	99.5%	未達成 ^{※3}

※1 目安は、目標値を現状で達成すべき水準に按分した数値

※2 指標達成率は、「目安」と「現状値」の比

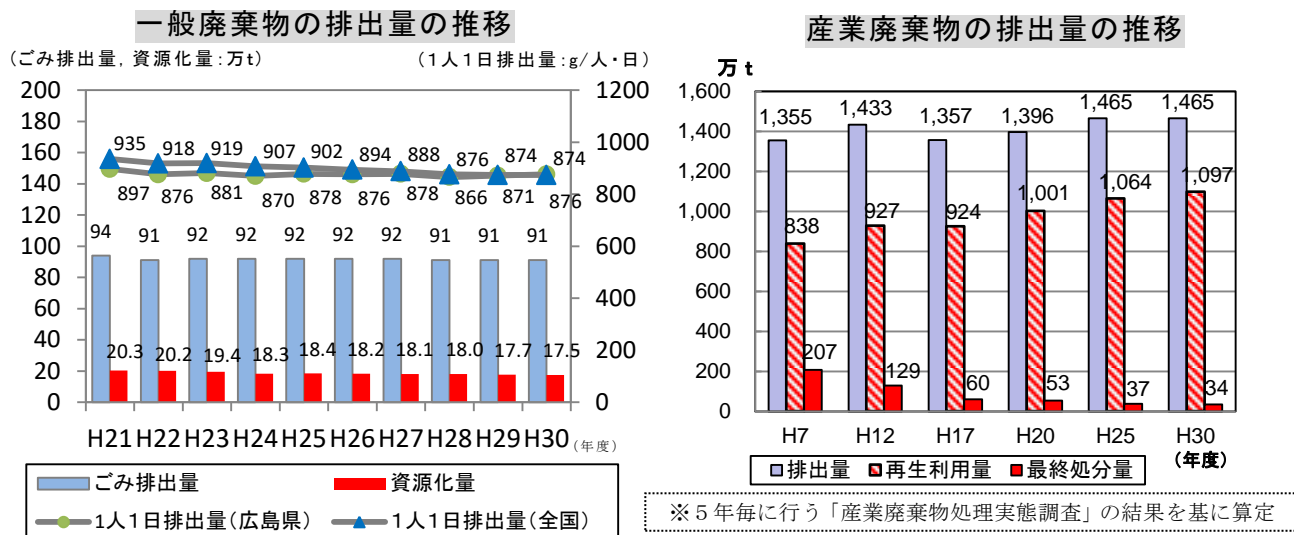
※3 進捗状況についてこれまで 90%以上は「概ね達成」として評価していたが、次期地球温暖化防止地域計画の策定に当たり、現行計画の達成状況を評価したところ、現行の水準では令和 2 年度の目標を下回る見込みであることから、「未達成」としている。

(2) 広島の更なる3Rを進める「循環型社会の実現」(P25～)

○ 廃棄物の排出状況

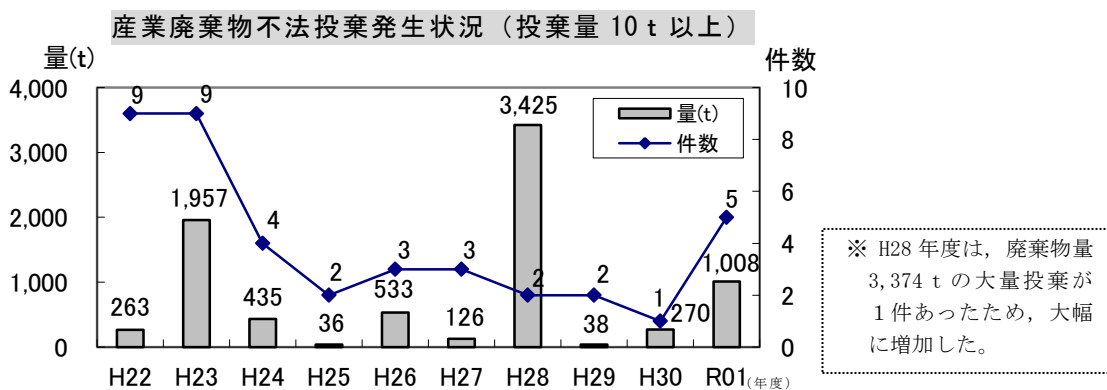
一般廃棄物の県内全体及び1人1日当たりの排出量は近年横ばいが続いているが、生活系ごみ(家庭)が減少した一方で事業系ごみが増加したため、目標未達成となった。

産業廃棄物排出量は、経済情勢で変動するものの、概ね1,400万t前後で推移しており、目標どおり達成した。



○ 廃棄物の不法投棄の状況

産業廃棄物の不法投棄(投棄量10t以上の事案)は、平成24年度以降、発生件数は5件以下で推移しており、目標どおり達成した。



○ 災害廃棄物の処理対策の強化

平成30年7月豪雨災害における対応を振り返り、市町向けの初動マニュアルを作成するとともに、マニュアルの研修及び図上訓練を実施した。

【目標指標の達成状況】

指標項目(内容)	単位	基準年度値(H25)	現状値(H30)	目標値(R2)	目安	指標達成率	進捗状況
一般廃棄物排出量	万t	92.2	90.8	87.4以下	88.8	97.8%	未達成※
産業廃棄物排出量	万t	1,465	1,465	1,480以下	1,476	100.8%	目標どおり達成
産業廃棄物の不法投棄件数(投棄量10t以上)	件	5.6 (H17~26平均)	5(R1)	毎年度5以下	5	100.0%	目標どおり達成

※進捗状況についてこれまで90%以上は「概ね達成」として評価していたが、次期廃棄物処理計画の策定に当たり、現行計画の達成状況を評価したところ、現行の水準では令和2年度の目標を下回る見込みであることから、「未達成」としている。

(3) 広島の良い「地域環境の保全」(P43～)

○ 大気汚染等の環境基準達成状況

11市3町に設置した37局の大気測定局と中央監視局で構成する常時監視システムにより、県内の大気汚染状況を常時監視している。

令和元年度の測定項目では、二酸化硫黄や二酸化窒素などの大気汚染物質は、環境基準達成率100%を維持した。

光化学オキシダントの環境基準は、昼間(5～20時)の1時間値で評価し、1年のうち1時間でも環境基準を超過すると環境基準非達成とされるため、環境基準達成率は0%であったが、昼間の1時間値の約92%は、環境基準値以下であった。

また、ダイオキシン類による環境汚染の状況を把握するため、大気(24地点)、水質(32地点)、底質(26地点)、地下水(5地点)及び土壌(16地点)の環境汚染状況調査を行い、いずれにおいても環境基準の適合を確認した。

大気汚染物質の環境基準達成率※

(単位：%)

項目/年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
二酸化硫黄及び一酸化炭素	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
二酸化窒素	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
浮遊粒子状物質	69	41	100	100	100	100	100	100	100	100
光化学オキシダント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【参考】()内は、1時間値における環境基準値以下の割合	(91)	(94)	(92)	(91)	(92)	(91)	(90)	(89)	(92)	(92)

※ 環境基準達成率：環境基準達成測定局数/測定局数×100%

【目標指標の達成状況】

指標項目(内容)	単位	基準年度値(H26)	現状値(R1)	目標値(R2)	目安	指標達成率	進捗状況
二酸化窒素	%	100	100	100	100	100%	目標どおり達成
浮遊粒子状物質		100	100	100	100	100%	目標どおり達成
ダイオキシン類環境基準達成率(大気・公共用水域・土壌)		100	100	100	100	100%	目標どおり達成

(参考) 大気汚染に係る環境基準

物質	環境上の条件
二酸化硫黄	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。
一酸化炭素	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。
二酸化窒素	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。
光化学オキシダント	1時間値が0.06ppm以下であること。
ダイオキシン類	年間平均値が0.6pg-TEQ/m ³ *以下であること。

※ ダイオキシン類の基準値は、2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値(TEQ)とする。

(4) 広島豊かな「生物多様性の保全」(P78～)

○ 生態系の健全な維持管理

本県は、その複雑な地形と多様な気候によって、豊富な生物相を有している。

一方で、県内に生息する野生生物 15,314 種のうち、絶滅のおそれのある野生生物として 1,000 種（うち 19 種は既に絶滅）が選定されている。

こうした希少な野生生物について、生息・生育状況等の現状を把握し、野生生物の現状に関する情報提供や普及啓発を行うとともに、鳥獣保護区の指定などにより、生息・生育域の保全を図っており、鳥獣保護区面積については、目標を概ね達成している。

絶滅のおそれのある野生生物の種の選定状況（平成 23 年度）

分類群	県内種数	カテゴリー別種数					選定種数
		絶滅	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	要注意種	
種子植物・シダ植物	2,928	4	109	145	140	60	458
コケ植物	719		38	10	4	2	54
藻類	1,258		1		11	17	29
地衣植物	382	1	3	5	7		16
菌類	700			12	30		42
哺乳類	43	3	6	5	8		22
鳥類	302		8	10	14	11	43
爬虫類	16			1	3	2	6
両生類	19		1	5	4		10
汽水・淡水魚類	84	2	10	5	12	8	37
昆虫類	8,318	8	46	36	92	37	219
貝類	133	1	6	8	14	7	36
その他無脊椎動物	412		1		12	15	28
合計	15,314	19	229	242	351	159	1,000

○ 自然資源の持続可能な利用

自然公園においては、生物多様性の確保など自然環境の保護を図るとともに、自然とのふれ合いの場として適正な利用を推進している。

自然公園の施設利用者は、平成 30 年度に 7 月豪雨の影響により減少したが、令和元年度は、施設やアクセスの復旧が進み、施設利用者が増加し、目標どおり達成した。

自然公園等の利用者数

(単位：千人)

区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1
国立公園	6,922	7,186	7,732	8,032	7,089	7,367
国定公園	1,172	1,118	1,039	995	918	870
県立自然公園	518	513	503	521	357	423
その他野外レクリエーション施設※	1,101	1,092	1,031	1,062	952	981
合計	9,713	9,909	10,305	10,610	9,316	9,641

※ その他野外レクリエーション施設：県民の森、もみのき森林公園、県民の森、中央森林公園、中国自然歩道、県自然歩道

【目標指標の達成状況】

指標項目（内容）	単位	基準年度値(H26)	現状値(R1)	目標値(R2)	目安	指標達成率	進捗状況
鳥獣保護区面積	ha	58,506 (H28)	57,351	57,343 (R4)	57,925	99.0%	概ね達成
自然公園利用者数	千人	8,611	8,660	増加を図る	8,611	100.6%	目標どおり達成

(5) 環境負荷の少ない社会を支える「人づくり・仕組みづくり」(P92～)

○ **環境学習・環境活動の推進**

県では、県民の自主的な環境保全活動を促進し参加機会の拡大を図るため、各地で行われている取組に関する情報提供を行うとともに、地域で緑化活動や美化活動などを行っている団体等の活動支援、環境学習講師の派遣などによる環境保全活動の拡大に向けた支援を行っている。

県環境情報サイト「エコひろしま」のアクセス件数は、環境関連事業者向けの申請等のページが多く、話題性のある情報発信が不足していたことなどから、目標が未達成であったが、その他の指標は目標を達成している。

【目標指標の達成状況】

指標項目(内容)	単位	基準年度値(H26)	現状値(R1)	目標値(R2)	目安	指標達成率	進捗状況
県環境情報サイト「エコひろしま」アクセス件数	千件	898	563	増加を図る	898	62.7%	未達成
環境学習講師の派遣者数	人/年	10	21		10	210.0%	目標以上達成
環境活動リーダー養成者数(累計)	人	10	131	100	85	154.1%	目標以上達成
せとうち海援隊認定団体数	団体	32	37	新規認定年1団体以上	37	100%	目標どおり達成

4 指標の達成状況

分野	計	目標以上達成 (達成率120%以上)	目標どおり達成 (達成率100%以上)	概ね達成 (達成率90%以上)	未達成 (達成率90%未満)	その他※
第1節「低炭素社会の構築」	13	2	0	4	5	2
第2節「循環型社会の実現」	9	0	4	0	4	1
第3節「地域環境の保全」	27	4	19	4	0	0
第4節「生物多様性の保全」	10	0	5	4	0	1
第5節「人づくり・仕組みづくり」	8	3	2	0	2	1
計	67	9	30	12	11	5

※ 「その他」は、進捗状況を途中年度で評価することが難しく、最終年度に評価することとしている指標

- 目標を達成もしくは概ね達成となっている67項目中51項目については、引き続き、現状の水準を維持・向上できるよう、効果的な施策を実施していく。
- 未達成の11項目については、その要因分析をして、目標達成のために必要な見直し等を検討し、順次取り組んでいくこととし、今年度策定予定の次期環境基本計画に反映させていく。